

SHIMANO FISHING ROD

フィッシングロッドを末永くお使いいただくために

フィッシングロッド 取扱説明書

このたびは、シマノフィッシングロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。いかに軽くて丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、竿を傷めてしまいます。釣り人にとって、竿は大切な体の一部。この説明書をお読みの上末永く、ご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

SHIMANO

株式会社シマノ
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

お問い合わせ
0120-861130 (ハローイサオ)
【受付時間】AM9:00~12:00 PM1:00~5:00(土、日、祝日は除く)

<http://www.shimano.com>

新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

■アフターサービスに関する情報やパーツ互換性の検索、メンテナンス動画などご視聴いただけるHPアドレス：
<https://www.shimanofishingservice.jp/>



⚠ 危険
<p>⚠ 高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合重大事故(感電死)を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意ください。</p> <p>⚡ 電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。</p> <p>⚡ 落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくなると、釣竿から電気を感ずるようなときも同様に、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。</p> <p>⚡ 釣り場以外の電線による感電 釣り以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。</p>
⚠ 警告
<p>⚠ キャスト時(投げる)時の注意 キャスティング(投げる)時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。</p>
⚠ 注意
<p>⚠ 固着のゆるめ方 釣竿の固着(継ぎ部が食い込んで外れない時)は、継目の両側近く、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押し(振出竿の場合)、継目をゆるめてください。その際、一気に力を入れると釣竿の継目に手をはさみ、けがをすおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●竿の構造上、固着を完全に防止することはできません。固着をゆるめる時等、強く竿を握ると竿が潰れて破損し、手等に怪我をすることがありますのでご注意ください。 ●固着をゆるめる時等、ガイド部分を握って節の抜き差しはしないでください。ガイドの変形や糸止部の破損の原因になり、手等に怪我をすることがありますのでご注意ください。 <p>⚠ 根掛かりの外し方 根掛かり(水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはすれない状態)した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んできて、けがをすおそれがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。</p> <p>⚠ 破損時の取り扱い方 使用中、万一釣竿が破損(折れ、割れ、欠け、剥離)した場合、破損した箇所を手などでかすおそれがあります。</p> <p>⚠ 子供の手の届く所に置かないでください 誤使用による事故や怪我に繋がる恐れがあります。</p> <p>⚠ 釣竿を釣り以外の目的に使用しないでください 事故や怪我につながる恐れがあります。</p> <p>⚠ 竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります 折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をすおそれがありますのでご注意ください。</p> <p>⚠ 安全に釣りをし頂くために 万一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をすおそれがあります。釣りをす際は、安全のためサングラス(偏光グラス)、帽子の着用をお勧めします。</p>

※本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シンボルシールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようにお願いします。尚、印刷されている機種もあります。

フィッシングロッド取扱い上の注意

使用上のご注意

ガイド付き振出し竿の場合・・・

- トップカバーをはずす時は、真上に引き抜くようにはずしてください。無理にひねったり、こじったりすると穂先を折ることがあります。
- 移動ガイドは、確実にセットしてください。また、ガイドに道糸を通し忘れないよう注意してください。それらが原因で穂先を折ることがあります。
- 糸ガラムシのまま道糸を巻き込まないでください。竿の一部に無理な力がかかり折れることがあります。

ガイド付き並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合・・・

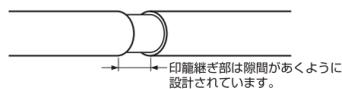
- 竿を継いで伸ばす際、前後のガイドのセンター合わせをすると同時に継ぎ部の合わせをしっかりと行ってください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。
- フルキャストを繰り返す場合、定期的にロッド継ぎ部の合わせ具合をご確認ください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。
- 竿を継いで伸ばしたり、あるいは仕舞う際に、ガイド部を持って捻じったりしないでください。ガイドの破損、ガイドの変形、厚塗り部の割れや剥離、糸巻きが破損する恐れがあります。

ロッドホルダー、ロッドクランプを取り付ける場合・・・

かかり竿・船竿については、金属製ロッドホルダー及び金属製ロッドクランプの使用時において強い締付を行ないますと、締付部(素材等)の破損が生じる恐れがあります。この様な破損による損害について当社としては補償しかねますのであらかじめ御承ください。

スピゴットフェール(印籠継ぎ)の場合・・・

スピゴットフェール(印籠継ぎ)部は隙間があくように設計されています。これは季節や環境の変化による合わせ部の膨張、収縮と磨耗に対応するためのものです。充分強度を持たせており使用上の問題はありませので安心してお使いください。無理矢理差し込んだりすると口割れをおこしたり、ぬげなくなる恐れがありますので、必要以上に差し込まないでください。



ズームロッド操作時のご注意・・・

グリップ部とズーム部には段差があります。ここを握って急激にズームインすると、手を挟む場合がありますのでご注意ください。

バランスーに関するご注意・・・

バランスーを連結して使用した際には、口栓が接触し素材を破損する恐れがありますのでご注意ください。

その他のご注意

- 竿が曲がる際に、糸巻き部の厚塗りが竿の曲がり追随できず、ひびが入ることがありますが、ガイドやリールシートの固定力には問題ありません。現在の生産技術上、ひび割れを防ぐことはできない状態です。あらかじめご了承ください。
- 竿は一本一本、手作業で仕上げられています。そのため、商品により色調や質感に若干の差が生じる場合がありますがご了承ください。

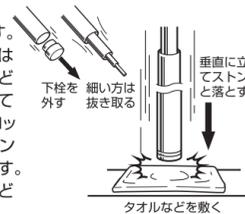
万一の故障の時

お買い上げの販売店又は、シマノ製品お取扱い販売店に預けください。お近くにシマノ製品お取扱い販売店が無い場合、販売店へ修理品を持ち込む以外の方法を検討される場合には、シマノダイレクト修理サービスもご利用頂けます。詳しくはシマノカスタマーセンター HP (<https://www.shimanofishingservice.jp/>) をご覧ください。その際、保証書付きの商品は保証書とお買い上げ年月日の記載がある購入証明を添えてください。

継ぎ目がとれにくくなった場合

ガイドなし振出し竿の場合・・・

固着したところより細い(穂先方向)部分を、まず抜き取ります。元竿の中に仕舞い込んだロッドはそのままにして、板面等それほど硬くない水平な面に垂直に立てて持ちます。元竿や仕舞い込んだロッドを誘導管にして、ストーン、ストーンと落とせば意外に簡単に外れます。このとき、タオルや段ボールなどを敷いておけば、より安心です。



並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合・・・

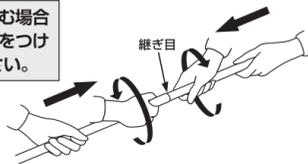
すべり止めのゴムシートや輪ゴムを当てて、図のように2人で向きあい、継ぎ目に近いところをしっかりと握ります。お互いに、逆方向にゆっくりとネジリながら引き抜きます。



ガイド付き振出し竿の場合・・・

並継ぎ竿と同じ要領です。お互いに逆方向にネジリながら、ゆっくりと押し込みあいます。

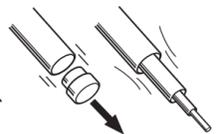
この時、竿に手をはさむ場合がありますので、手袋をつける等してご注意ください。



※ガイドを外して、ガイドなしの要領で行う方法もありますが、ガイドを外すときの熱の加え方が難しく、おすすめできません。

継ぎ目に砂が入った場合・・・

振出し竿は、元竿の下栓を外し、一本一本抜き出して、竿の内側をていねいに手入れしてください。ガイド付きの竿は、下栓を外し、よく水洗いをして砂を流したあと、風通しの良い場所に日陰干しをしてください。



いわゆる固着は、水が付着した時や投げの力や魚の強い引きなどで多かれ少なかれ起きます。力まかせに、無理やり外そうとすれば、竿を傷めてしまいます。上記のような要領で行ってください。それでも無理なときは、シマノサービスネットにご相談ください。

釣行後のお手入れもお忘れなく

水洗いをして、汚れや塩分をきれいに落とすあと、水気をふきとりす。このあと、風通しの良い場所で、日陰干しをして、水気を完全にふきとってください。

タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。

ロッドの汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとってください。注) 市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。ロッドによっては塗装及び時にはロッドまで傷める原因になります。



車のトランクルームなどに長期放置しないでください。

高温、密閉状態での長期放置は、ロッドの大敵。釣行後は、左記の要領で手入れのあと、風通しの良い場所にしまってください。



竿の表面を布等で強くこすると、塗装の種類によっては色落ちが発生する場合がございます。ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。

修理部品に関するお願い

パーツを注文される際には、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。

弊社では修理部品を商品コード番号によって分類しています。穂先交換などご自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号は、保証書(保証書の付かない商品もあります)、本体元竿、パッケージのラベル、タグ等に記載されています。商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。

●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。修理対応期間につきましてはシマノカスタマーセンター HP (<https://www.shimanofishingservice.jp/>) をご覧ください。

※商品コード番号は、数字の5ケタまたは6ケタになっています。(例) CODE No.12345 または CODE No.123456

